SONY

3-297-997-**02**(1)

HDMI AVセレクター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SB-HD21

ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには

➡ AV 関連商品・アクセサリー カスタマーサポートへ
（http://www.sony.co.jp/av-acc）
AVアクセサリー商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

電話・FAX でのお問い合わせは

➡ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）
お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：
- 型名：SB-HD21
- 製造（シリアル）番号：本体底面のラベルに記載
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

接続に関するご質問時

質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥**0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **0466-31-2511**

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥**0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ **0466-31-2531**
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「９９９」＋「＃」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389 **受付時間** 月〜金:9:00〜20:00 土・日・祝日:9:00〜17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体やACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ **電源を切る**
❷ **ACパワーアダプターをコンセントから抜く**
❸ **ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となります。内部の点検や修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、本体やACパワーアダプターに触れない

感電の原因となります。

海外で使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

ぬれた手でACパワーアダプターや本体にさわらない

感電の原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

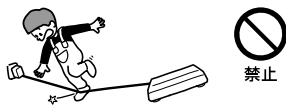
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因になることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると製品の落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、ACパワーアダプターを抜く

長期間使用しないときは、安全のため、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

主な特長

- 2入力1出力のHDMI*[1]セレクター

HDMI出力端子付き機器　SB-HD21（本機）　HDMI入力端子付き機器

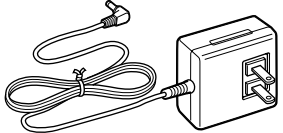
- HDMI Version 1.3で拡張されたDeep Color*[2]（〜36bit）、x.v.Color対応（HDMI認証済み）
- フルスペックハイビジョン（フルHD：1080p）画質の信号伝送可能
- AVラックの隙間に設置できる省スペース設計（幅145mm 高さ35.5mm）
- HDMIの大容量のデータ信号を的確に処理できる高品位設計
- 内部のシールド構造により、外来ノイズを遮蔽し、安定した信号伝送を実現
- 接続するHDMI機器の対応しているデジタルサラウンド音声信号にも対応

*[1] HDMI（High-Definition Multimedia Interface）
デジタル機器間で映像／音声信号をデジタルのまま1本のケーブルで送ることができるインターフェースです。高品質な映像や音声が楽しめます。デジタル画像信号の暗号化記述を使用した著作権保護技術であるHDCPにも対応しています。
（HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）：デジタル画像信号の暗号化方式で、HDMIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムです。）

*[2] DeepColor
HDMI端子内を通る信号の色深度を高めたビデオ信号です。
従来のHDMI端子では、1ピクセル（画素）で表現可能な色数は24ビット（16,777,216色）でしたが、DeepColorに対応した場合、より高い36ビットなどに対応することが可能になります。
多ビット化により色の濃さの階調をより細かく表現できるため、連続した色の変化をなめらかに表すことができます。

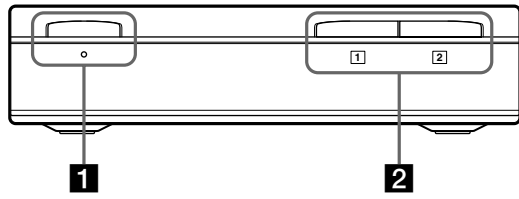
付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

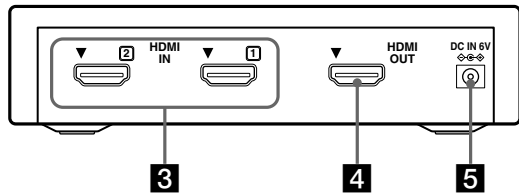
□ ACパワーアダプター（1）

□ 取扱説明書（1）
□ ソニーご相談窓口のご案内（1）
□ 保証書（1）

各部のなまえとはたらき

本体

前面

1 ⏻（電源）ボタン／ランプ
本機の電源の入／スタンバイを切り換えます。
電源を入れるとランプが点灯します。

2 HDMI INPUT 1〜2（HDMI入力1〜2）ボタン／ランプ
テレビやプロジェクターに映す信号を選びます。
ランプ点灯中の入力が選ばれています。

後面

3 HDMI IN 1〜2（HDMI入力 1〜2）端子
接続する機器のHDMI出力端子につなぎます。

4 HDMI OUT（HDMI出力）端子
テレビやプロジェクターのHDMI入力端子につなぎます。

5 DC IN 6V 端子（電源入力端子）
付属のACパワーアダプターをつなぎます。

接続する

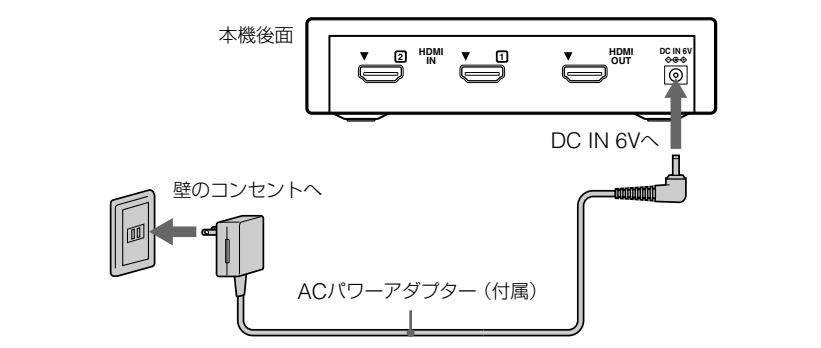
テレビやプロジェクター、ブルーレイディスクレコーダー、DVDレコーダー、地上／BS／CSデジタルチューナー、ゲーム機など、お持ちのHDMI端子付き機器を本機につなぎます。

ご注意
- すべての接続が終わってから、それぞれの機器の電源コードをコンセントにつないでください。
- 本機につなぐ機器に付属している取扱説明書もよくお読みください。

接続例

HDMI端子の接続のご注意
- HDMIケーブルの端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- HDMIケーブルでつないだ機器の映像がきれいに映らなかったり、音が出ないときは、つないだ機器側の設定を確認してください。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど、正常に動作しない場合があります。
- 本機の出力端子と接続機器の出力端子どうし、本機の入力端子と接続機器の入力端子どうしでの接続はしないでください。故障の原因となります。
- 本機につないだ機器について詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

電源をつなぐ

すべての接続が終わったら、付属のACパワーアダプターをつなぎます。

テレビに映す（テレビに出力する機器を選ぶ）

本機につないだテレビやプロジェクターへ出力する機器を選びます。

1 使用する機器を準備する。
① 本機の ⏻（電源）ボタンを押して、電源を入れます。
② 再生機器とテレビの電源を入れます。
③ テレビの入力切り換えを、本機に合わせておきます。

2 本機のHDMI INPUT 1～2ボタンを押して、テレビに映す機器を選ぶ。

3 手順2で選んだ機器を再生する。
再生した機器の映像と音声がテレビに出力されます。

ヒント
電源を入れると、前回電源をOFFにする前に選ばれていた入力が自動的に選ばれます。
（ACパワーアダプターをつなぎ直した場合は、電源を入れると自動的にHDMI INPUT 1 になります。）

HDMI機器制御機能（BRAVIAリンク対応など）を持つ機器を接続したときのご注意
本機は、HDMI機器制御機能には対応しておりません。
あらかじめ本機の電源を入れ、本機のHDMI入力を、HDMI機器制御機能をお使いになりたい機器に合わせておくことにより、一部の連携機能が行なえる場合もありますが、動作の保証はしておりません。
動作に不具合が生じた場合は、HDMI機器制御機能をオフにして使われることをお勧めします。

ご注意
本機の電源入／スタンバイや入力切り換えの際に、つないだ機器の映像や音声が乱れたり、映像や音声が出るまでに時間がかかる場合があります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しない時は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にお問い合わせください。

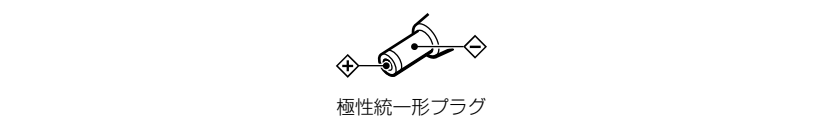
症状	原因と対処
電源が入らない	ACパワーアダプターがコンセントからはずれているか、ACパワーアダプターのプラグがセレクターの電源入力端子から抜けている。 → ACパワーアダプターをコンセントに正しく差し込み、ACパワーアダプターのプラグをセレクターの電源入力端子にしっかりつないでください。
映像が映らない*／音声が出ない*	• 本機のHDMI入力端子に再生機器などのHDMI出力が正しく接続されていない。 → 接続をもう一度点検してください。 • 本機のHDMI出力がテレビやプロジェクターなどのHDMI入力端子に正しく接続されていない。 → 接続をもう一度点検してください。 • 入力切り換えのあるテレビやプロジェクターなどの場合は、入力が正しく選ばれていない。 → テレビやプロジェクターなどの入力切り換えを正しく選んでください。 • 接続された機器が著作権保護技術（HDCP）に対応していない。 → 著作権保護技術（HDCP）に対応した機器をお使いください。詳しくは接続された機器の取扱説明書をご確認ください。 • 本機に接続された再生機器などのHDMI出力信号フォーマットとテレビやプロジェクターなどのHDMI入力信号対応フォーマットが合っていない。 → 本機に接続された機器どうしの信号フォーマットが合っているか確認してください。詳しくは接続された機器の取扱説明書をご確認ください。 • DVI機器に接続している。 → DVI機器への接続はおすすめしません。DVIアダプターを使って接続する場合は、接続機器がDVIアダプターに対応していることを確認してください。 → DVI機器に接続した場合、音声は出力されません。 • HDMI Licensing LLCで認証されたHDMIロゴ付きケーブルでつないでいるか確認してください。 • 解像度が1125p（1080p）の映像やDeepColorの映像を視聴するときは、HIGH SPEED HDMIケーブル（HDMI Version 1.3で定義された「カテゴリー2」として認証済みのケーブル）でつないでいるか確認してください。 • 再生機器によっては、機器側で設定が必要な場合があります。各接続機器の取扱説明書もご覧ください。
映像や音声が乱れる*	• 接続が不完全である。 → 接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。

* 上記の処置を行っても改善しない場合は、本機に接続した機器どうしを直接つないで正常に動作するか確認してください。

使用上のご注意

ACパワーアダプターについて

- 付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。付属以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  －ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、 異常が生じた場合は速やかに電源コンセントから抜いてください。
  －ACパワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  －火災や感電の危険を避けるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。
- 電源コンセントから抜くときは、必ずACパワーアダプターの本体部を持って抜いてください。
- 本機を使用しないときは、すべての電源をはずしておいてください。

接続ケーブルについて

- HDMI Licensing LLCで認証されたHDMIロゴ付きのケーブルをお使いください。
- ソニー製のHDMIケーブルをおすすめします。
- HDMI接続で解像度が1125p（1080p）の映像やDeepColorの映像を視聴するときは、HIGH SPEED HDMIケーブル（HDMI Version 1.3で定義された「カテゴリー2」として認証済みのケーブル）を推奨します。
- HDMI-DVI変換ケーブルの使用はおすすめしません。
  HDMI-DVI変換ケーブルでDVI-D機器をつないだ場合、
  －音声は出力されません。
  －映像が出力されないことがあります。

取り扱いについて

- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音や画像の乱れの原因となります。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

お手入れについて

本体表面が汚れたときは、乾いた布で軽く拭きとってください。汚れがひどいときは、うすめた中性洗剤を布に含ませて拭きとってから、乾ぶきします。化学ぞうきんを使うときは、その注意書きにしたがってください。
また、以下のことに気をつけてください。本体表面が変質したり、塗料がはげたりすることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジンは使わないでください。
- 殺虫剤やヘアスプレーをかけないでください。
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、HDMI AVセレクターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

入出力端子

入力端子	HDMIコネクター 2系統（後面 HDMI IN×2）
出力端子	HDMIコネクター 1系統（後面 HDMI OUT×1）
対応信号	HDMI：1080p、Deep Color（36ビットまで）、x.v.Color対応

電源部、その他

電源	DC 6 V（付属のACアダプターを接続して使用）
最大外形寸法	約145×35.5×105 mm（幅／高さ／奥行）（突起部、脚部を含む）
質量	約400 g
付属品	ACパワーアダプター（1） 取扱説明書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1）

ご注意
本機では、コンピューターと接続しての動作は保証しておりません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。